

島根原子力発電所の運転状況（平成20年12月分）

中国電力担当分

【1号機】：平成20年12月は、全期間原子炉定格熱出力一定運転を行った。

【2号機】：第15回定期検査のため、平成20年9月7日に発電を停止。

1 運転保守状況（中電データ）

号機	炉型	定格電気出力	営業運転開始日	12月の設備利用率(%)	12月の発電電力量(万kWh)	1月19日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	102.1	34,942	運転中 (H20.4.20 ~)	
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	0.0	0	計画停止中 (H20.9.7 ~) 第15回定期検査中	別紙のとおり

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象（12月20日～1月19日）

該当なし

3 安全協定第10条で規定する異常事象（12月20日～1月19日）

該当なし

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

12月末現在

	12月末保管量（前月比増減量）	12月発生量	12月処理量 ²	前月末保管量
ドラム缶保管量（本）	22,685（10）	256	246	22,675
その他の種類の保管量（本相当）	4,747（2）	2	0	4,745
合計	27,432（12） ¹	258	246	27,420

1 保管能力：35,500本

2 処理方法：ドラム缶減容処理、焼却処理

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ） 12月末現在（単位：体）

	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	250	1,708	1,958
貯蔵全容量	1,140	3,518	4,658
容量管理容量	660	2,818	3,478

管理容量 = 全容量 - (1炉心分¹ + 1取替分²)

1：1号機400体 2号機560体

2：1号機約80体 2号機約140体

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。

（単位：Bq）

	放射性気体廃棄物（12月）		放射性液体廃棄物（12月）	
	放射性希ガス	放射性ヨウ素（I-131）	トリウムを除く	トリウム
原子炉施設合計 （今年度累計）	ND ¹ （ND）	ND ² （ND）	ND ³ （ND）	2.2 × 10 ¹⁰ (2.3 × 10 ¹¹)
号機別 内訳				
1号機	ND ¹	ND ²	ND ³	2.2 × 10 ¹⁰
2号機	ND ¹	ND ²	放出実績なし	放出実績なし
年間放出管理目標値	8.4 × 10 ¹⁴ ⁴	4.3 × 10 ¹⁰ ⁴	7.4 × 10 ¹⁰	7.4 × 10 ¹² ⁵
サイトバンカ建物	-	ND ²	-	-

1：検出限界値 約2 × 10² Bq/cm³ 以下

2：検出限界値 約7 × 10⁹ Bq/cm³ 以下

3：検出限界値 約2 × 10² Bq/cm³ 以下
（⁶⁰Coで代表）

4：年間放出管理目標値は、平成17年4月から見直された。

5：年間放出管理の基準値を示す

（排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値）

（単位：cps）

		12月分		先月の実績		安全協定で定める 通報基準値		
		最小	平均	最大	最小		平均	最大
排気筒モニタ	1号機	5.2	6.1	7.0	5.2	6.0	7.0	500 ⁶ (1,000 ⁷)
	2号機	2.9	3.4	4.0	2.9	3.4	4.1	500 ⁶ (1,000 ⁷)
放水路水モニタ	1号機	2.3	2.7	4.2	2.4	2.7	3.6	7 ⁶ (70 ⁷)
	2号機	3.5	4.1	5.2	3.5	4.1	4.9	8 ⁶ (80 ⁷)

6：この状態が10時間続くとき

7：この状態になったとき

7 モニタリングポストの測定結果（敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム）（中電データ、県データ）

（単位：nGy/h）

	敷地境界モニタリングポスト（中電管理分）							環境放射線情報システム（県管理分）										
								西浜佐陀	御津	古浦	深田北	片句	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結
平均値	22	26	33	24	30	28	平均値	52	43	42	31	46	39	32	34	37	41	44
最高値	79	67	78	86	81	63	最高値	92	96	82	76	98	95	82	65	76	101	88
月平均の変動幅	19~23	23~27	30~34	21~25	28~31	26~29	平常の変動幅(上限)	87	71	68	56	68	64	64	57	73	68	73
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	前年度までの最大値	164	129	105	106	112	114	118	192	127	100	111

・平常の変動範囲（上限）を超えた値は、降水の影響と推定される。

・12月31日20時28分から20時40分の間において、敷地境界モニタリングポスト、深田北、北講武、佐陀本郷、手結の指示値が一時的に上昇する事象が発生した。1、2号機の排気筒モニタや関連パラメータに異常はなく、発電所のトラブル等に起因するものではないことを確認した。事象発生時に降雪および雷を観測しており、これらの影響によるものと推定した。なお、該当データについては、欠測値として取り扱った。

上講武は平成19年8月より移設したため、参考値

担当：島根県 総務部 消防防災課 原子力安全対策室
電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930
中国電力（株）島根原子力本部 広報部
電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514

（参考）定例プレスでは掲載しない情報の例示

（1）環境放射線及び温排水測定結果・・・県が実施する調査結果と併せて「環境放射線等調査結果報告書」（四半期報）で公表する。

（2）島根原子力情報伝送システムの伝送計画及び実績・・・環境放射線情報システムやインターネットでリアルタイムで公表している発電所情報の伝送計画及び実績であり、長期欠測等については、その都度事前にインターネット等でお知らせしている。

（3）地震発生時の発電所の状況連絡・・・震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。